

しんじん
神人養成課題

取り組むにあたって

— 神人養成課題マニュアル付き —

目次

【巻頭言】 神人になるために 西園寺昌美……………	2
神人養成課題の概略 ……………	3
本冊子のガイダンス ……………	3
神人の意義 ……………	4
宇宙神マンダラについて 西園寺昌美 ……………	7
我即神也の宇宙神マンダラ ……………	8
人類即神也の宇宙神マンダラ ……………	9
息を止めて書く意義 ……………	10
「神人養成課題」達成 Q&A ……………	13
〔参考〕	
人間と真実の生き方 ……………	16
世界平和の祈り、	
消えてゆく姿で世界平和の祈り ……………	17
「消えてゆく姿で世界平和の祈り」の実践方法 ……	18
〔補足資料〕	
我即神也の宣言文 ……………	20
人類即神也の宣言文 ……………	21
書籍及び頒布品紹介・各種情報 ……………	22

※この小冊子には「神人養成課題」の意義や参考資料が掲載されていますが、神人養成課題の具体的な行い方については、挟み込みの「神人養成課題マニュアル」（A3 サイズ 表裏）に詳しく書かれています。

神人になるために

西園寺 昌美

真理の言葉は光であり、エネルギーそのものである。何百回、何千回、何万回と真理の言葉を自らの潜在意識の奥に染み渡るまで、繰り返し繰り返し語りつづけることである。すると、自らの意識が失敗や苦悩の感情想念に負けず克服してゆく方向に導かれ、突如神人としての意識が腹の底から湧き起こり、奮然としてそれに立ち向かえるようになる。拒絶が受容に、不安や恐怖がよろこびに、依存が自立へと転化してゆくのである。

この生き方が自らの習慣にまで達せられたら、後はもう自然発生的にいかなることをも光明思想一念の生き方に見事に転換されてゆくのである。

しんじん 神人養成課題の概略

神人養成課題を始めることができるのは、我即神也の印、人類即神也の印を組める方が対象となっています。

次の3つの課題（神人養成課題）を達成すると、神人と認定されます。

1. 宇宙神マンダラの作成：2枚のマンダラ用紙の1枚に「我即神也」の文字を、もう1枚に「人類即神也」の文字を、それぞれ105周、息を止めて書きます。
2. 人類即神也の謹書：「人類即神也」の宣言文を唱え、印を組んだあと、「人類即神也」の5文字を原稿用紙に約1分間、息を止めている間に7回、謹書します。これを100セット行ないます。
3. 人類即神也の宣言：7万人に対して「人類即神也」と宣言します。

本冊子のガイダンス

この課題の中の「宇宙神マンダラ」については、7～9ページの「宇宙神マンダラについて」「我即神也の宇宙神マンダラ」「人類即神也の宇宙神マンダラ」をお読みください。

またマンダラを書く時に、息を止めて書かなければいけません、このことについては、10～12ページの「息を止めて書く意義」をお読みください。

さらに「神人養成課題」達成のためのQ&Aを13～15ページに掲載しました。参考にいただければ有り難く思います。

また神人として基礎力を養うために、「人間と真実の生き方」、その実践方法である「消えてゆく姿で世界平和の祈り」を16～19ページに掲載いたしました。

そして、神人養成課題マニュアルの中で使用する「我即神也」「人類即神也」の宣言文を20・21ページに収録いたしました。

どうぞご活用ください。

しんじん 神人の意義

はじめに、神人とは何か、また神人になるとどのような働きをするのか等、神人の意義をご説明します。

神人とは

神人とは、真理を想い続け、神の無限性を言葉と想念と行為に現わすことができるようになった人々のことを言います。

真理を語り、真理を想い、真理を行動として表すならば、私たちの心は宇宙神、大自然、すべてと一体になってゆきます。それにより、私たちの意識は高次元世界のものとなり、私たちは三次元の束縛（因縁、名誉、地位、権力）から自由になってゆきます。心の働きが高まり、意識があらゆるものから自由になり、ますます真理を求めるようになります。このような人を神人と言います。

そういった神人は、宇宙神のエネルギー、また大自然のエネルギーとより深く交流し、そのエネルギーによって、さらなる神人へと進化創造を成し遂げてゆくことができるようになります。真理と一体となった心の中には、二元対立の考えが消え去り、愛そのものの人格に変容してゆきます。そして人生を創造的に自由に生きてゆくことができ、無限供給の供給側の人となります。

神人の意識は宇宙神に直結しています。神人として成長してゆくと、宇宙神のエネルギーを受け取り、それにより目に見える世界を超えることが出来て、目に見えない世界で働いている宇宙の秩序、真理、法則が深く理解できるようになります。三次元世界に住しな

がら、三次元を超えた存在になります。そのような人が多く育つことによって、宇宙の無限性が現実はこの地上に現われることになり、真の調和世界が誕生することになります。

神人の生き方と神人の住む世界

神人は、より神人そのものとなるために、自己に内在する真理をより深く理解する必要があり、真理の体得のための探究を自ら行なうようになります。

その拠り所となる方法として、真理の書を読み、真の祈りを祈ること、我即神也の印・人類即神也の印を組むこと、また究極の呼吸法があります。

これら真理の探究により、神人の魂が真理そのものに変容するにつれて、神人の意識は高次元になり、神人が明確に想うことは成就するようになります。

呼吸は大きな働きをします。高次元意識+吸う呼吸で宇宙に遍満するエネルギーが集められ、神人の体内に取り込まれます。そして止めている呼吸で神人の肉体のエネルギーと一つになり、想っている内容が天に刻印され、吐く呼吸で成就します。

したがって、神人が真理そのものになり、二元対立の意識がなくなると、その神人の周囲には、対立のない大調和のエネルギーが充満するようになります。このエネルギーはどのようなものにも作用し、接するものすべてを本来の生命の姿、生き生きとした歓喜に満ちた心の状態に導きます。

神人が少数の場合には、顕著な変化を見ることがないのですが、神人が増えるに従って、その生み出されたエネルギーは、人類の未来を大調和世界建設に向けて導いてゆきます。

そして、神人が10万人に達すると、神人が生み出すエネルギーは、人類の意識を低次元から高次元に導いてゆくほどの量になります。これによって人類の意識は低次元意識から解放され、本来内在する高次元意識を自覚するようになり、その高次元意識において人類の心は一つになり、人類はすべてとの一体感を己がものとし、全く闘争のない世界が真実のものとして現出します。

神人養成プロジェクト

神人誕生が山積する問題の真の解決方法になります。

現在の地球は、急速に、次元が上昇しつづけ、物質文明から精神文明への過渡期にある、と言われていています。そんな中、1999年より地球上に10万人の神人を輩出するための「神人養成プロジェクト」が始まりました。

人類の意識が現在のように自我意識の強い低次元のままであると、低次元意識から生まれる不完全な不調和なエネルギーは、真理を知らない人々に働きかけ、闘争や貧困、病気などが蔓延する世界を終わらせません。次元が上昇するとは、意識が高次元になることであり、世界を分断されたものと見ずに、全体が一つであると見ることができるようになることでもあります。

神人養成プロジェクトは、高次元意識の人間を養成するプロジェクトであります。その方法として「神人養成課題」があります。

宇宙神マンドラについて

西園寺 昌美

宇宙神マンドラにより二元対立は消滅する。

なぜならば真理は、二元対立を超えたものだからである。

神と一体という理念は対立を破る。対立は存在しない。

故に、すべての人類は、二元対立の世界を超えて一体となる。

宇宙神との一体化、人類との一体化、地上の生きとし生けるものすべてとの一体化……。

そのため、人類、民族、宗教の対立は終わりを告げ、戦争、紛争もなくなる。

宇宙神マンドラを書きつづけてゆくうちに、また済んだ後も、本来の無限なる叡智、無限なる能力が秀で、自分自身の力で素晴らしいことのみを選択し、素晴らしいことのみを決定し、素晴らしい結果を生み出してゆくものである。

今まで神に頼り、人に頼り、自らに自信がなかった自分が、すべて自分の力で、自分の直観で、自分の叡智で、自分の人生を決定し、輝かしい人生を築き上げてゆく。

宇宙神マンドラを書き上げることにより、自分のもとより、自分の周りの人たちまでもが次々と幸せへと導かれてゆく。なぜならば、宇宙神マンドラ自体が光を放ちつづけるからである。

－ 我即神也の宇宙神マングラ －

「我即神也」の文字を、息を止めて一回一回書くことにより、かつて自分は神そのものであったという真実を思い出してゆく。

「我即神也」を一回書くことは、自分自身が神そのものであるということをも魂に刻印してゆくことである。

何故、自分が今、不幸なのか、病気になるのか、苦しいのか……。

それはすべて過去の誤った否定的想念のためである。

その過去の否定的想念を自らの手で、自らの力で、自らの意識で祓い浄めなければならない。それらの否定的想念を祓い浄めるために最も効果のある方法が、宇宙神マングラである。「我即神也」を一回ずつ書き込むことによって、自己否定、自己限定、自己誤解、自己錯覚を覆す。本来の自分、真理そのものの自分、神そのものの自分を現わしてゆく。

「我即神也」の文字を書きつづけてゆくうちに、マングラ用紙の中心から直接、宇宙神の光が流れ出し始める。

七周目くらいから、宇宙神の光と交流し始め、その円周が多くなればなるほど、「我即神也」の文字が多くなればなるほど、宇宙神の光がだんだんと強さを増し、その宇宙神マングラが出来上がったら、常に宇宙神からの光が地上に流れ出る。

そのため、個人の運命が好転するだけでなく、我即神也の宇宙神マングラに接する人々は皆、宇宙神の光を浴び、真理に目覚め始め、幸せへと導かれてゆく。

我即神也の宇宙神マングラは、自分自身を大調和させ、自分自身を神にまで高め上げ、神の姿を顕現させるものである。

－ 人類即神也の宇宙神マンダラ －

人類即神也の宇宙神マンダラは、世界人類の一人一人のためへの刻印である。

「人類即神也」を一回書くことにより、地球上の人類の中の一人が救われることになる。

人類即神也の宇宙神マンダラを終わりまで書きつづけると、地球人類の何万人、何十万人の人々が救われることになる。

自分の書く人類即神也の宇宙神マンダラは、このように人類のための大いなる貢献をなしつづけているのである。

人類即神也の宇宙神マンダラも、我即神也の宇宙神マンダラと同じように、書き始めてから七周目くらいに宇宙神の光が入り始め、中心より地上の人類に光を放ち始める。

この人類即神也の宇宙神マンダラを書く時、宇宙の光、エネルギー、パワー、真理の媒体となっている。この人類即神也の宇宙神マンダラの絵図面は、凸レンズの役割を担い、地上に放出されている偉大なる真理、神の叡智、光明をかき集め、この人類即神也の宇宙神マンダラを通して地上の人類に光、真理を放ちつづけるのである。

人類即神也の宇宙神マンダラは、人類と人類との交流を大調和させ、平和にさせ、お互いが真理に目覚めさせる働きを担っている。

息を止めて書く意義

なぜ息を止めて書くのか

宇宙神マンダラとは即、神に至る道である。

宇宙神マンダラを描く時、我々は必ず息を止めて書くことになっている。

なぜ息を止めるのか。

息とは本来、宇宙神と肉体との交流、いわゆる光の掛け橋である。息を通して、絶えず宇宙神のエネルギーが肉体へと注がれているのである。我々の肉体そのものは宇宙神の無限なるエネルギー、パワー、光、叡智、直観、治癒力によって支えられているのである。

我々の肉体は宇宙神の一部であって、決して宇宙神とかけ離れたものではない。この宇宙神と肉体との光の掛け橋が無かったら、肉体は消滅する。

呼吸とは、肉体を維持し支えてゆくのに非常に大きな役割を担っているのである。呼吸は、自分の意識とは全く関係なく行なわれている。呼吸は流れるように続き、そこに一瞬の隙間もない。もし仮に、一瞬の間でも呼吸を忘れてしまったとしたら、我々は一体どうなるのであろうか。たちまち死に至るのである。

我々は、寝ている間も、熟睡している時も、無意識状態の時も、夢を見ている時も、呼吸は絶え間なく続いている。嬉しい時も、悲しい時も、苦しい時も、憎んでいる時も、喧嘩している時も、食べている時も、呼吸は続く。そして植物人間になって、ベッドの上で寝かされつづけていたとしても、呼吸があるうちは生きつづける。かつまた、いかに年を重ねていようとも、百歳、百二十歳の人も、呼吸があるうちは生きる。呼吸は我々の意識とは関係なく続くのである。

呼吸とは、我々の生命そのものに欠かすことの出来ない基本的な営みである。我々は呼吸なしには生きられない。息と生命とは全く一つのものである。呼吸は生命の源であり、原点でもある。呼吸によって、

宇宙神のエネルギー、光、パワー、力が肉体に取り込まれるのである。

さて、宇宙神マンダラを書く時、息を止めるということは、大変意義深いことである。

人間は呼吸によって肉体と宇宙神とを結びつけているのである。その偉大なる無意識作業において、意識的に息を止めて、宇宙神マンダラに“我即神也”または“人類即神也”を書き込んでゆくことは、宇宙神のエネルギーを肉体の一つ一つの細胞の中に、かつまた細胞内にある一つ一つの遺伝子の中に、改めて“我即神也”または“人類即神也”を刻印してゆくことなのである。

息を止めることによって起こること

なぜ人々は宇宙神マンダラを描きつづけてゆくうちに幸せと平安に、かつまた歓喜へと導かれてゆくのか、誘われてゆくのか……。

それは、宇宙神の究極の真理が、無限なるエネルギー、パワー、光、能力、叡智などが呼吸によって取り入れられるからである。かつまた一旦肉体に入ってきたエネルギーは息を止めることによって、凝縮され、結集され、ものすごい力となって、肉体の一つ一つの何の働きもしていない、眠ったままの細胞に働きかけ、次々と目覚めさせ、働かせるからである。

その一つ一つの細胞が蘇り、息を吹き返し、働き始めるにつれて、意識が高揚し、エネルギーが内に漲り、自然発生的に硬直していた肉体が、疲れきっていた肉体が、自縄自縛になっていた肉体がすべての殻を破り、解放され、究極の真理が一つ一つの遺伝子に通達され、遺伝子の中に刻印されてある“我即神也”のメッセージが再び読み返され、目覚めさせられ、働きはじめるからに他ならない。

人間の呼吸そのものは、常に肉体を生かすために、宇宙神のエネルギーを、霊要素を肉体に運び込むためのメッセンジャー的働きを担っている。真理に目覚めていようが目覚めていまいが、それとは全く関係なく、生命ある限り運びつづけているのである。だが、究極の真理

に目覚め、我即神也の宣言をし、印を組みつづけている人たちが、宇宙神マンダラを描きはじめると、誰も彼もが大いなる至福を得てゆくのである。これこそ人類六十数億を救済するための究極の方法である。

呼吸の尊さ

呼吸とは、宇宙神の贈りものだ。無限なる叡智、エネルギー、治癒力を頂いているのだ。だが、そのことに気づく人は誰もいない。皆、当然の如く行なわれている呼吸に対して何ら関心などない。感謝などない。生命がそれによって維持され支えられているという事実さえ気づいていない。

宇宙神マンダラを謹書する人たちは、息を止めることによって、自然に呼吸の尊さ、崇高さ、偉大さを認識しはじめる。息を止めたことにより、呼吸のあり難さを知らされるからである。

そして息を止め、一つ一つ丁寧に心を込めて、精神を集中させ、宇宙神マンダラ用紙に書き込む“我即神也”。この文字に生命エネルギーが記されている。自らの意志が刻印されている。この我即神也の文字一つ一つが真理の波長そのものだ。大調和の波動そのものなのだ。

息の尊さ即生命の尊さが理解できるのだ。息を止める、息を吸う、息を吐く。この行為は、宇宙神の波長に合わせる行為そのものだ。そこに意識があればあるほど、すべては完璧に整えられてゆく。

呼吸の意識化

今までは、出来ない、不可能と思えることでも、すべては覆されてしまう。そしてすべてが可能となり、すべてが成功となり、すべてが繁栄となり、すべてが幸福となってゆく。宇宙神において、個我の自分は消え去り、大調和の神我となる。

自己が覚醒した時、すべては自動的に起こる。呼吸の意識化によって、すべては引き起こされてくる。

「神人養成課題」 達成 Q & A

Q. 「神人養成課題」を達成すると、どのようになるのですか。

A. この「神人養成課題」は集中的に高次元の言葉「我即神也」「人類即神也」に、私たちの意識を向け、それを言葉と想念と行為に現すことをテーマとし、組み立てられています。

「我即神也」「人類即神也」ということばは、宇宙神のひびきであり、「神人養成課題」を通して、私たちの潜在意識の中に宇宙神のひびきが深く浸透し、心が光明化します。この心の光明化によって、私たちは「高次元の存在」の自己に生まれ変わります。私たちは、自分自身の言葉と想念と行為によって、「自己」というものを毎日創造していますので、この言葉と想念と行為を変えることによって、新たな存在に生まれ変わることができるのです。

Q. 「神人養成課題」をやっている時に、否定的な想いが出てきた時はどうすればいいのですか。

A. 私たちが「我即神也」「人類即神也」に意識を向けると、宇宙神のエネルギーを受けることとなります。これによって潜在意識にあった否定的な想念が浮き上がってくることがあります。これは潜在意識が浄化してゆくプロセスなのですが、“いやだな”と想ったり、“こんなことに何の価値があるのか”と想ったりすることをまれに感じる場合があります。この時は、自分の潜在意識の中にあつた否定的な想念が浮き上がって消えてゆくのだと想って、そのまま課題達成に進んでください。そうしていると心がますます光明化してゆき、いつのまにか否定的な想念がなくなっているのを実感されるでしょう。

Q. 「神人養成課題」に意欲が湧かなくなったのですが、どうすればいいでしょう。

なにごとにも物事を行なうには、エネルギーを必要とします。このエネルギーを消耗してしまうと、意欲をなくしてしまうのです。

このエネルギーとは宇宙の気であり、大自然に満ち満ちる生命エネルギーでもあります。食事によって取り入れるエネルギーは、これらエネルギーのほんの一部であり、本質的には呼吸と意識によって、私たちは眼に見えないエネルギーを吸収しているのです。

我即神也の印、人類即神也の印を組む時には、宇宙神のエネルギーという最高の生命エネルギーを受け取ることができ、この生命エネルギーが満ち満ちた状態の時、人間は意欲をもって人生を生きることができるのです。

そして、人間は、この生命エネルギーを感情の乱れや暴飲暴食、過度の運動等で消耗してゆきます。「神人養成課題」に取り組んでいる時は、これらのことに留意して、意欲の増減を、自分の生命エネルギーの充実度のバロメーターとしてみて生活をコントロールしてみてください。そうすれば、生き生きとした状態で「神人養成課題」を達成することができるでしょう。

Q. 私は、「神人養成課題」を知ったので、これを行なおうと思ったのですが、いろいろなことを深く知りません。このような私に何かアドバイスをください。

「神人養成課題」に取り組もうと想われたということは、そのこと自体が、あなた様の魂の高さを表しています。内面において、自己の神性を信じられる人々は、内面の深いところで常に自己の本質を知ろうとする心があり、「神人養成課題」にその可能性を感じられたのでしょう。

その意識の高さこそが神人となるために必要なものです。そこで、その意識の高さを曇らせないために、まず、意識して否定的な言葉や想念を発しないことが大切であると知ってください。

神人達成の道は、自他を否定しないことから始まります。言葉や想念には力があり、否定的な言葉や想念は、私たちの生命エネルギーを消耗してしまいますが、否定的な言葉や想念を発したからといって、自分を責めず、すぐに光明の言葉や想念に切りかえてください。光明の言葉や想念は、否定的な言葉や想念を消すことができるので

す。この想念の法則をご理解ください。

そして、「神人養成課題」達成の途上で、どのような自他を否定する想いが湧いてきても、それらの否定の想いは、新しく生まれ変わる自分には必要のないものとして捨て去り、ひたすら「我即神也」「人類即神也」の言葉の中に、意識を投入してまいりましょう。そうすることによって、それら「否定」の想念波動は、私たちの中から消え去り、「神人養成課題」達成時には、光明思想※2に生まれ変わった自分自身になっていることを体験されると思います。

なぜなら、自己肯定の精神の最高のものが「我即神也」であり、他の人々すべてを肯定する精神の最高のものが「人類即神也」であるからです。

心から皆様の「神人養成課題」達成の成就をお祈りいたします。

※1, 光明の言葉

プラスの言葉、例えば

「無限なる愛」、「無限なる調和」、「無限なる平和」、「無限なる感謝」、「無限なる自由」、「世界人類が平和でありますように」等

※2, 光明思想

本来、人間は光明そのものであることを深く自覚し、どのような状態、環境でも、悪と見え、不調和と思えることは、本来のものではなく、「すべては必ずよくなる」と光明のみを見つめてゆくこと。

もし、否定的な想い、言葉、行為などが出た時には、光明の言葉を発することで打ち消していく。そしてその光明の言葉を日常生活で絶えず発することで、その言葉そのものの明るく輝いた人生を創造できるようになる。

参考

「人間と真実の生き方」の実践方法として「消えてゆく姿で世界平和の祈り」を行なうと、私たちの本心が開かれてゆきます。神人養成課題を取り組む間も、また神人になってからも、「人間と真実の生き方」の実践は皆様の魂に自らが自らを導くための大きな力を与えます。

人間と真実の生き方

人間は本来、神の分霊であって、業生ではなく、つねに守護霊、守護神によって守られているものである。

この世のなかのすべての苦悩は、人間の過去世から現在にいたる誤る想念が、その運命と現われて消えてゆく時に起る姿である。

いかなる苦悩といえど現われれば必ず消えるものであるから、消え去るのであるという強い信念と、今からよくなるのであるという善念を起し、どんな困難のなかにあっても、自分を赦し人を赦し、自分を愛し人を愛す、愛と真と赦しの言行をなしつつけてゆくとともに、守護霊、守護神への感謝の心をつねに想い、世界平和の祈りを祈りつづけ、個人も人類も真の救いを体得出来るものである。

世界平和の祈り

せかいじんるい　へいわ
世界人類が平和でありますように
にっぽん　へいわ
日本が平和でありますように
わたくしたち　てんめい　まっとう
私達の天命が完うされますように
しゅごれいさま
守護霊様ありがとうございます
しゅごじんさま
守護神様ありがとうございます

メイ　ピース　プリバイル　オン　アース
May peace prevail on earth.

メイ　ピース　ビー　イン　アワー　ホームズ　アンド　カントリーズ
May peace be in our homes and countries.

メイ　アワー　ミッションズ　ビー　アカンプリッシュト
May our missions be accomplished.

ウイー　サンク　ユー　ガーディアン　ディーティズ　アンド　ガーディアン　スピリッツ
We thank you, Guardian Deities and Guardian Spirits.

この祈りは、五井先生（世界平和の祈りの提唱者）と神界との約束事で、この祈りをするとともに必ず救世の大光明が輝き、自分が救われるとともに、世界人類の光明化、大調和に絶大なる力を発揮するのです。

世界平和の祈りは、いつでも、どこでも、誰でも祈ることが出来ます。この祈りを祈ることによって、個人的苦悩も、いつの間にか、世界平和という大目的の中に昇華されてゆきます。この祈りは、個人の幸せと世界の平和を同時に成就させる大きな働きをします。

※ 守護霊、守護神とは、常に私たちの背後にあって、私たちを専属的に守護し、運命の修正に尽力している神霊です。

消えてゆく姿で世界平和の祈り

日々の生活の中で、どのような困難な状況が現れても、それらのことを心に止めず、すべてを過去の因縁の消えてゆく姿と見て、これから良くなるのであるという善念を起し、守護の神霊への感謝（天命の遂行を阻害するもろもろの業想念を消していただいているので）とともに、世界平和の祈りを行なう。これを「消えてゆく姿で世界平和の祈り」の実践といいます。

「消えてゆく姿で世界平和の祈り」の実践方法

— 五井 昌久著「我を極める」より抜粋 —

世界平和の祈りを続ければ必ずよくなる

皆さんはもう世界平和の祈りを知ってますね。だから常に、自分が罪を作ってるとか、自分が悪いことをしているとか、そういうことを一切帳消しにしなければいけません。もし誤って人を恨んだとするならば、“ああこれは過去世の因縁がここで現われてくるんだから、ああ申し訳ない、そんなこと心に起こしちゃいけないんだ、神様有難うございます、どうかあの方の天命が完うしますように”と、パアッと変えちゃう。悪い想いが出、悪い行ないが出る、そうした時にもう即座に神様に謝っちゃって、世界平和の祈りの中に入ってしまおう。

そうやって常に常にいいものばかり、いいことばかり自分の中から出すんですよ。悪いことはどんどん消えてゆく姿にしてね。あとはどんどんいいことばかり、自分がなりたいようなこと、人がなってもらいたいようなことを……。

そうすると、一番なってもらいたいことは、世界人類が平和であること。自分の天命が完うされること。そういうことが一番なってもらいたいことですよ。それを皆さんは気が付かないうちに、知らないうちに、世界人類が平和でありますように、と言ってるわけです。日本が平和でありますように、と言っている。私どもの天命が完うされますように、と一番自分の望むことを唱えているわけね。毎日毎日、朝昼晩歩いていても、電車に乗っていても、お便所の中でも、食事の時にでも、いつでも世界人類が平和でありますように、とやっているでしょ。これはただ事でない、大変なことなんです。大変に徳を積んでることなんです。分かりますか。

何故かというと、もう一回言いますけれども、人間は神様の子で、自分自身が創造主なんです。自分の運命を作るのは自分なんです。誰も他の者が自分の運命を作ってくれるわけじゃないんです。自分の運命はすべて自分が作るの、どんな悪いことも、どんないいことも、みんな自分が作ったことで、ただその悪いことが現われてくる場合には、過去世の因縁として、それを自分の中に入れておかないで、消えてゆく姿で祈りの中に送り込んでしまえばいい。

だから常に悪が現われたり、不幸が現われたり、自分の中に嫌な想いが現われたら、過去世の因縁としてパアッと切り離さなけりゃいけない。それで消えてゆく姿にしてお祈りの中に入れてしまう。

それで、今の自分はいいことばかり、本当にいいことばかりを思うんですね。その一番最上のいいことが世界人類が平和でありますように、日本が平和でありますように、私たちの天命が完うされますように、という言葉に現われている想いなんです。言葉は即ち神なりき。だからそれを言葉に現わすと、言葉通りの運命が自分に現われてくるんです。

こういう簡単な原理です。あんまり難しいことはないんですよ。人間が立派になるのも、運命がよくなるのも、あんまり難しいことはない。ただひたすら、ひたむきに、たゆみなく飽きないで、世界平和の祈りを続けていけば、必ずよくなるに決まっている。

それは法然、親鸞が、南無阿弥陀仏と言えば、必ずその人たちはいい所へ行くと教えたのと同じであって、それがもっと現代的に分かりやすく、しかも意味がはっきりとれるように説いているのが世界平和の祈りなんです。

補足資料

我即神也の宣言文

神人養成課題マニュアルの1ページで使用します

われそくかみなり **我即神也**

わたくし かた こと ば かみ こと ば わたくし はつ そうねん かみ
私が語る言葉は、神そのものの言葉であり、私が発する想念は、神
そのものの想念であり、私が表わす行為は、神そのものの行為である。
すなわち かみ こと ば かみ そうねん かみ こうい で むげん
即ち、神の言葉、神の想念、神の行為とは、あふれ出る、無限な
あい むげん えい ち むげん かんき むげん しあわ むげん かんしゃ
る愛、無限なる叡智、無限なる歓喜、無限なる幸せ、無限なる感謝、
むげん いのち むげん けんこう むげん ひかり むげん
無限なる生命、無限なる健康、無限なる光、無限なるエネルギー、
むげん むげん せいこう むげん きょうきゆう
無限なるパワー、無限なる成功、無限なる供給……そのものである。
それのみである。

ゆえ われそくかみなり わたくし かみ かた ねん こうい
故に、我即神也、私は神そのものを語り、念じ、行為するのである。
ひと じぶん み われ かみ み おも おも じ
人が自分を見て、「吾は神を見たる」と、思わず思わせるだけの自
ぶん みが たか あ かみ
分を磨き高め上げ、神そのものとなるのである。
わたくし み すなわ かみ み わたくし ひか かがや じんるい
私を見たものは、即ち神を見たのである。私は光り輝き、人類に、
たか かみ むげん あい はな
いと高き神の無限なる愛を放ちつづけるのである。

- ・我即神也、人類即神也の宣言文は、それぞれ我即神也の印、人類即神也の印を組む前に行なうものです。
- ・印の組み方の小冊子もございます。22 ページをご参照下さい。
- ・ボランティアによる印のワークショップを無料で開催しております。

<http://www15.ocn.ne.jp/~lightnet/>

人類即神也の宣言文

神人養成課題マニュアルの2ページで使用します

じんるいそくかみなり 人類即神也

わたくし かた 私おもが語るあらこと、想おもうこと、表あらわすことは、すべてじんるい人類のことのみことのみ。
じんるい しあわ 人類じんるいのへいわ幸せじんるいのみ。人類じんるいのしんり平和めざめのみ。人類じんるいがしんり真理めざめに目覚めることのみことのみ。
ゆえ わたくし 故かたに、私かん個人いっさいに関すること一切ことの言葉ぼ、想そうねん念こうい、行しん為しんに私じ心がなし、自じ我がなし、
たいりつ な 対立ななし。すべてはうちゆう宇宙ひかりそのもの、光しんりそのもの、真理かみそのもの、神かみ
の存在そんざいそのものなり。

ちきゅうじょう しょう 地球上てんべんに生ちずるちいかなるへん天変地変かんきょう、環お境汚染せん、飢き餓が、病びよう気き……これ
らすべてじんるいそくかみなり「人類即神也」あらわを顕あらわすためのプロセスなり。

せかいじゆう く 世界中ひろで繰せんり広せんげられるせん戦争みんぞくふんそう、民しゅうきょう族紛争たいりつ、宗また教対立また……これらも又
すべてじんるいそくかみなり「人類即神也」あらわを顕あらわすためのプロセスなり。

ゆえ ちきゅうじょう 故でに、いかなるきごと地球上じょうきょうの出来事じょうほう、状たい況たい、新たい聞たいス、情か報またに対しても、
また じんるい 又さまざま、人類いの様々かたなる生そうねんき方こうい、想たい念か、行また為しょうに対しても、且ちつ又ち、小しょう智ち
さいかく じんるい 才覚しんいきにより神域けがを汚はつめいしてしまっているはつめい発たい明たい発見たいに対しても、こ
れらすべてじんるいそくかみなり「人類即神也」あらわを顕あらわすためのプロセスとして、いかなる
ひ はん 批判ひ、非なん難ひよう、評か価くだも下たいさず、それらなんに対しても何いっさいら一切かん関知ちせず。

わたくし ただ 私じんるいは只たいひたすら人類かみに対して、神むげんの無あい限ゆるなる愛いつくと赦いつくしみを
あた じんるい 与しんりえつづけ、人類しんりすべてが真理めざに目覚めるときその時いたに至るじんるいまで、人類
ひとりひとり か 一人一人じんるいそくかみなりに代いんわって「人類即神也」の印くを組くみつづけるのである。

書籍及び頒布品紹介

※価格は変更になることがあります。
※価格表示は、消費税込み価格です。



書籍

神と人間 五井昌久 著 定価 1,404 円

われわれ人間の背後にあって、昼となく夜となく、運命の修正に尽力している守護霊守護神の存在を明確に打ち出し、霊と魂魄、人間の生前死後、因縁因果をこえる法等をわかりやすく説き明かす。

我を極める - 新しい人生観の発見 五井昌久 著 定価 1,728 円

我を極めた先にある個人と人類が一体となる道を「世界平和の祈り」の提唱者の著者が語る宗教観、人間観。

我即神也 (われそくかみなり) 西園寺昌美 著 定価 1,728円

人間は本来神、内に無限なる愛と叡智を秘めた存在。その真の姿に目覚めさせる待望の書。

真理の法則 - 新しい人生の始まり 西園寺昌美 著 定価 1,728円

真理の法則を知れば、人生が変わる。希望にあふれた人生へと誘う好著。

※その他、多数の書籍がございます。詳しくは白光出版ホームページまで。



頒布品

「世界平和の祈り」お祈りテープ／C D

テープ各種 (800～2,000 円)、C D 2,500 円

我即神也・人類即神也の印の組み方の小冊子 200 円

書籍及び頒布品のお求め先

白光真宏会 販売・頒布担当直通 TEL 0544-29-5109

各種情報

- ・ 神人養成課題内容の問合せ先 白光真宏会 TEL 0544-29-5105
- ・ 宇宙神マンドラセットの申込先 フジ印刷 TEL 0544-23-3100
- ・ 白光真宏会公式ホームページ <http://www.byakko.or.jp/>
- ・ 白光出版ホームページ <http://www.byakkopress.ne.jp/>

びやくこうしんこうかい しんじんようせい
白光真宏会 神人養成プロジェクト
〒 418-0102 静岡県富士宮市人穴 812-1
Tel. 0544-29-5105 Fax. 0544-29-5111
E メール : dendo@byakko.or.jp

2014.10.17

価格 200 円 : 別紙「神人養成課題マニュアル」含む